

# 本庄南ロータリークラブ



ロータリーを祝おう  
100年の歩み

## 会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00  
例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)  
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1  
Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141  
E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 奈良橋秋夫      クラブ会報委員会 / 委員長 阿奈 靖雄 / 副委員長 木村 真純  
幹事 堀口 孝利      / 委員 矢部 一臣・小松 政敏

### 第523回例会

2月1日(火)

発行 平成17年2月8日

- ◎司会 / 長沼 章SAA
- ◎点鐘 / 19時00分 奈良橋 秋夫会長
- ◎ソング / 国歌斉唱・奉仕の理想
- ◎ゲスト / 鈴木 峯一様(美里演芸福祉の会 会長)

RRRRR    RRRRRRRRRRR    RRRRR    RRRRRRRRRRR

会長挨拶      奈良橋 秋夫会長



早いもので正月も過ぎ、本日より2月となり、節分も間近となりました。冬の寒さが春の陽気になり、各地に於いて豆をまき、邪気を払う行事が行われます。

先日1月29日(土)には、第4回第4グループ会長幹事会が児玉町「桜」にて開催され、会長 奈良橋、根岸幹事代理が出席してまいりました。今回は新 精一第4グループガバナー補佐挨拶の後、議事の審議に入りました。

(1)IMの実施要項の説明では1903年2月23日RC発祥の日に因み、2月23日(水)埼玉グランドホテル深谷にて開催されます。本年は、本年度RIのテーマ「ロータリーを祝おう 100年の歩み」をテーマに家族と共に祝う事になりました。その他アトラクションとして、ラテン音楽の第一人者で、深谷市出身のレイ・アルフォンソ正田氏による「folkloreへの誘い」や、お楽しみ抽選会など楽しい企画が用意されております。又、ご多忙の事とは存じますが多数の会員、家族のご参加をお願い致します、との事でした。

(2)地区大会への協力依頼、2004-05年度地区大会が深谷市市民文化会館、深谷ロータリークラブのホストにて4月16日(土) 17日(日)行われます。第4グループはガバナー出身グループでありますので、各クラブに於かれましては、全員登録の意気込みで出席をお願い致したいとの事でした。尚、16日(土)には本会議の後、藤川亨胤氏の記念

講演、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、クラリネット奏者 花岡詠二氏のアトラクション、17日(日)は本会議の後、福岡政行氏の記念講演、深谷シティフィルハーモニー管弦楽団のアトラクションなどが予定されております。会員皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

また2004年12月22日のガバナー補佐会議に於きまして、2005-06年度ガバナー補佐予定者に第4グループでは本庄RCの加藤玄静氏が内定致しましたので、ご報告申し上げます。

本日は美里園芸福祉の会 会長 鈴木峯一様に卓話をお願いしてございます。鈴木様、この後宜しくお願い申し上げます。

尚、本日は例会終了後理事会があります。理事の方は宜しくお願い申し上げます。

#### 幹事報告

堀口 孝利幹事



今月はIMが23日(水)に実施されます。出席よろしくお祈いします。次週はグループ討論会になりますので予定お祈いします。

東京ロータリー会員の能平様から冊子を寄贈頂きました。お持ち帰り下さい。

先週に引き続き、4月地区大会の出欠をとらせて頂きます。

#### 委員会報告

長沼 章SAA(本庄高校PTA会長)



ここ数日の間で、学生を狙った犯罪が増加しています。私の知る限り3件の事件が発生したと思います。いずれも大事に至らないものでしたので不幸中の幸いでしたが、注意をはらうに越した事はありません。通学時に発生す

ることが多いようですので、万一、不審者をみかけた際には通報等の処置をお願いします。

阿奈 靖雄クラブ会報委員長



卓話者紹介

本日の卓話講師 鈴木峯一先生をご紹介します。

鈴木先生は前秩父農工高等学校の校長でしたが、12月10日から美里町教育委員長に就任されています。

本日は「農から広がる食・環境・地域づくりを目指す」というテーマで卓話を頂きます。

卓話

鈴木 峯一美里町園芸福祉の会 会長



農業に頼る大規模農業の弊害は、アメリカや中国の状況から伺えます。無計画な山林伐採、各地の砂漠化など世界で危機的状況が見受けられています。日本でも水田の役割を見直したり、農業、農村の公益的機能について改めて認識をすべき時期がやってきました。日本は、先進国の中で最低の穀物自給率です。かつての自給率の低かったイギリス、ドイツは自給率を上げています。工業製品と違ってすぐに増産できないのが食糧です。輸入に依存している日本の食糧事情、日本は世界最大の食糧輸入国です。

人口に対して耕作面積の狭い日本は、食糧自給率を上げるシステムを検討する必要があると言われています。

遊休農地の有効利用を考える必要もあります。

生きるという原点：心豊かなライフスタイルという観点から農を考えることも重要です。安心、安全の食糧生産、地産、地消、さらには旬産旬消とその地域でとれた旬のものをその地域で食べるといった本物の味わい方をして欲しいものです。

生産の合理性とただだけの農業のシステムづくりばかりに目を向けるのではなく、自然の中、土の中、農の中で心を癒すことのできるライフシステムを考えたいものです。

食育、農業の大切さを教育する必要性もあります。

今、地域づくり、人々の幸せを農、人のつながりで目指す必要もあるようです。

出席報告

飯塚 能成出席委員長

会員数	出席	M.U	欠席	出席率
29名	14名	9名	15名	79.31%

ニコニコボックス

奈良橋秋夫会長 鈴木先生、本日はお忙しいところ卓話ありがとうございます。